

「提案先」(以下枠内に50字以内で記載のこと。枠の大きさや位置等の変更は禁止)

ベンチャーキャピタルC社 および ベンチャーキャピタルD社 の2社

自社は現在、粉末冶金メーカーに対する材料提供を行っているが、足元では限界利益がマイナス、2022年1月には資金ショートの可能性もある厳しい状況である。このような状況を招いている背景で自社が抱える主要な課題として、①市場の選択、②付加価値訴求の仕組みが挙げられる。

これらの課題に対し、短期的施策としては、足元での収益性改善策と売上向上策を実施するとともに、人員を強化し2022年7月の黒字化を達成する。中期的には付加価値の高いチタン材料に特化し、大阪チタニウムテクノロジーズとパートナーシップを構築、それにより医療・航空機締結部品といった高付加価値市場への参入を目指す。

以上の戦略を実施するために、御社からの資金調達として、2,000万円(各社)の出資を依頼する。これにより、2026年には売上10億円、営業利益3.3億円を実現する。さらに長期的には2030年に売上50億円、営業利益17億円を目指し、調和組織構造の市場普及を実現する。

「提案の要旨」(以下枠内に400字以内で記載のこと。枠の大きさや位置等の変更は禁止)

1章. 外部環境分析

1-1. 金属材料業界 (添付 1-1 参照)

金属材料業界は、その金属ごとに価格・コスト構造・経済性が大きく異なり、その結果、超大手～小規模事業者まで幅広く存在する業界である。金属材料における特徴として、異なる素材間での付加価値/コストにおける競争が存在していることが挙げられる。そのため、企業間の競争に加え、素材間での優位性という論点を押さえる必要がある。

1-2. 付加価値金属の事業経済性 (添付 1-2 参照)

金属材料の中でも自社は金属を仕入れ付加価値を付けて販売する高付加価値材料業界に属していると定義できる。この業界における事業経済性を判断する際のポイントは以下2つと考える。1つ目は、仕入コストと加工コストのバランスである。元の金属の価格は自社にとって変動費となるが、この仕入価格は前述の通り材料によって大きく異なる。例えば、仕入価格の高いチタンのような金属であれば、相対的に加工コスト割合が低くなり、必然的に仕入コストつまり変動費割合が高くなる。2つ目は加工コストに規模が効くかどうかである。仮に仕入コストが安いアルミのような金属であった場合、加工コストに規模が効くかどうかで事業経済性を判断するうえで影響を与える。

1-3. 商材の特徴 (添付 1-3 参照)

金属材料は、強度・軽さなど同一軸で比較できる機能に加え、生体適合性など特定の金属のみがもつ機能も存在している。その一方で、最終製品によって使われる材料に求められる特性、およびその重要度は異なっている。特に、材料自体の重要度・付加価値が高い業界・製品では、素材に対する高い信頼性が求められる。結果として、それらの業界・製品で使われる材料はスイッチングコスト・参入障壁が高くなり、顧客・ステークホルダーと長期的なパートナーシップを築くことが重要とな

る。加えて、特定の用途に特化し高価・高付加価値になるほどニッチ産業となりやすく、規模が出にくいという特徴もある。

1-4. 顧客分析 (添付 1-4 参照)

現在の自社の直接顧客は国内粉末冶金メーカーであり、中小企業中心の業界である。顧客は大きく2つのセグメントに分類でき、①比較的規模が大きく、自社で研究開発・営業などのバリューチェーンを持事業者と、②川下メーカーからの受注に対し「製造」に特化した小規模事業者である。①の方が川下メーカーに対する提案力は比較的高いと思われるが、それでもバリューチェーンが強固な業界ほど提案力は低くなる。

1-5. 材料ベンチャーの難しさ・KSF

以上のように、素材間での競争がある中で事業として成立させるためには、いかに自社が高付加価値を提供できる市場を見つけ、付加価値以下のコストで提供できるかがキモとなる。一方、高付加価値材料を目指すほど、参入障壁の高さや規模がないといった難所も存在する。これらのジレンマをいかに超え事業を成立させるかが、材料ベンチャー成長のカギである。

2章. 自社の課題

2-1. 短期課題 (添付 2-2 参照)

短期的には、営業利益が赤字であり立て直しが急務である。中でも課題は、①限界利益率の改善と、②損益分岐点を超える売上高の確保の2点である。特に、限界利益率については現在マイナスであり、売れば売ほど損失が出る状態である(1kgあたりの変動費構造は添付 2-1 参照)。このままの成行きシナリオであれば22年1月資金がショートするという結果が見えている。

2-2. 中長期課題

中長期課題としては、市場の選択・付加価値訴求の仕組

み・普及に向けた製造コスト改善が挙げられる。

①市場の選択について

現在価値提供を行っているドローンやアウトドアといった業界に対しては、自社技術の強みが十分生きていない。そのため売価を十分高められていないと考える。自社の強みが生き、高価格で受け入れられる市場・製品の見極めが必要である。

②付加価値訴求の仕組みについて

高付加価値材料という商材の特性上、ステークホルダーとの長期的な関係構築が必要になる。現在、粉末冶金メーカーとの取引をしているが、彼らから適切な市場に対し、適切な付加価値訴求は難しくステークホルダーの見直しが必要である。

③普及に向けた製造コスト改善について

本技術はその加工方法ゆえ製造コスト削減に課題がある。この課題を解決することが、「調和組織構造」の普及というビジョンを見据えた場合のもっとも大きなギャップであり、自社が挑むべき課題となる。

3章. 成長戦略と経営施策

足元では収益性改善策を実施しながら、現ビジネスの黒字化を達成。中期的にはチタン供給業者とパートナーシップを組み、複数の高付加価値市場への市場参入を実現する。長期的にはコスト低減によりボリュームゾーンへの参入を目指す。

3-1. 短期戦略 (添付 3-1 参照)

主な打ち手①：設備投資による限界利益率の改善

喫緊の課題である限界利益率の改善方法として、変動費率を下げる施策を実施。具体的には新規に最大 10kg/回製造可能な粉末強化機械を導入する。これにより実質的に1kgあたりの加工時間を短縮でき、1kgあたりの限界利益率は-9%→21%へ改善する。

主な打ち手②：新規顧客の獲得

限界利益の黒字化を達成したうえで、新規の顧客獲得を目指す。1章で述べた通り、現在の顧客である粉末冶金メーカーは2つのセグメントに分けられるが、この中でも自社で川下メーカーに提案力を持つ粉末冶金メーカーに注力し、営業を実施する。具体的には最低4社との契約を目指し、これにより損益分岐点を超える売上高を達成する。

3-2. 中期戦略

主な打ち手①：強みが活きる市場への参入

自社技術が高い価値を発揮できる市場に注力する（市場課題と自社の提供価値については添付 3-3 参照）。具体的には人工股関節・歯科インプラント・航空機締結材料市場にお

いて当社強みが発揮でき、高い利益率を達成できると考える。また、これらの市場・製品に共通する点は、素材として元々付加価値・価格の高いチタン材料が使われていることである。チタンの使用量は少量だが、高い利幅での販売が可能である。これらの市場に対し、現在の売価よりも高価格で販売をする。

主な打ち手②：大阪チタニウムテクノロジーズとの協業

上記市場への参入の仕方として、チタンのバリューチェーンにおいて重要なステークホルダーである大阪チタニウムテクノロジーズ（以下、OTC）との協業を実施する。この理由としては、参入スピード・効率・相手側メリットの3点が挙げられる（OTCの情報、分析については添付 3-4 を参照）。具体的には、前述の市場課題への提案シナリオを OTC へ提案し、OTC を通して最終製品メーカーへの材料販売を実施する。強化材料の製造は自社で実施し OTC へ納入する。

主な打ち手③加工時間・コストの削減

23年1月より「表面強化粉末の量産化」を研究開始し、加工時間を現在の1/5に短縮する。これにより、量産に耐えられるキャパシティを確保、3年後の海外進出の構えを実施する。

これらの中期施策により、2026年に10億円の売上、3.3億円の利益を達成する。

3-3. 長期戦略

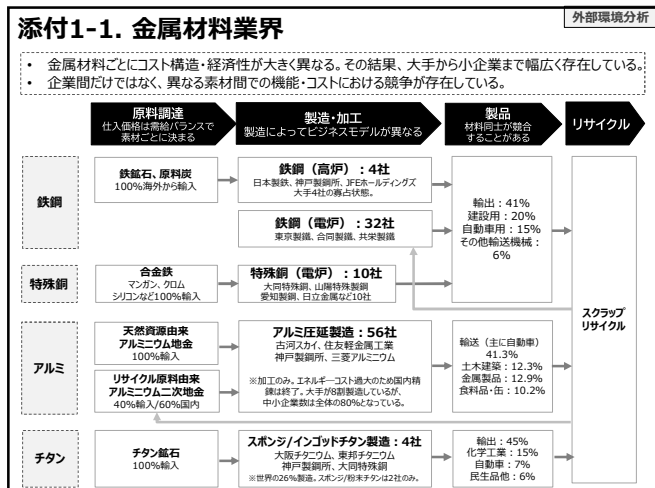
長期的には、チタン以外のアルミなど価格は安い流通量が多い材料に目を向け、調和組織構造の普及を目指す。アルミの特徴として、チタンと比べ仕入コストが低くなるため、加工費の影響が相対的に高くなる。そのため、より量産化・製造コスト削減に対する技術開発を加速させ、市場普及を目指していく。これらの施策により、普及価格帯での軽量材需要を取り込み、電動車の走行距離拡大の課題を抱える自動車業界等への市場拡大を目指す。

3-4. HR 戦略

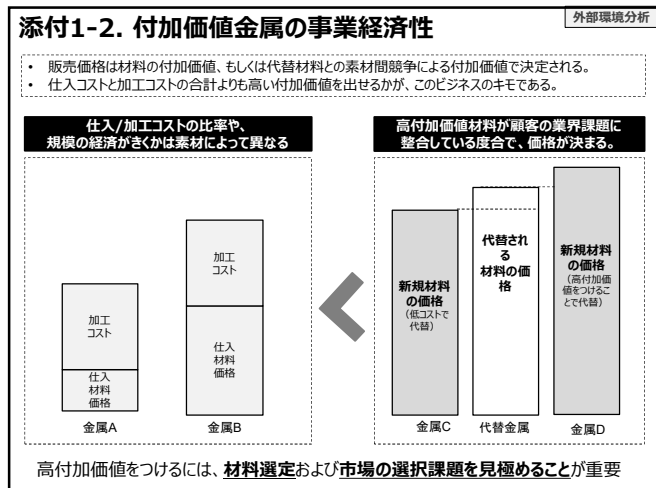
戦略実行のための人的リソースは、採用で補強する。OTCとの戦略実行に向け、技術系従業員を1名採用する。加えて、実際の生産が始まる23年には、品質保証担当、製造担当も新卒で採用する。また、加工時間短縮の量産研究のため、製造技術担当の従業員を専門家として中途採用し、確実な実現を目指す。

3-5. ロードマップ・予測財務諸表

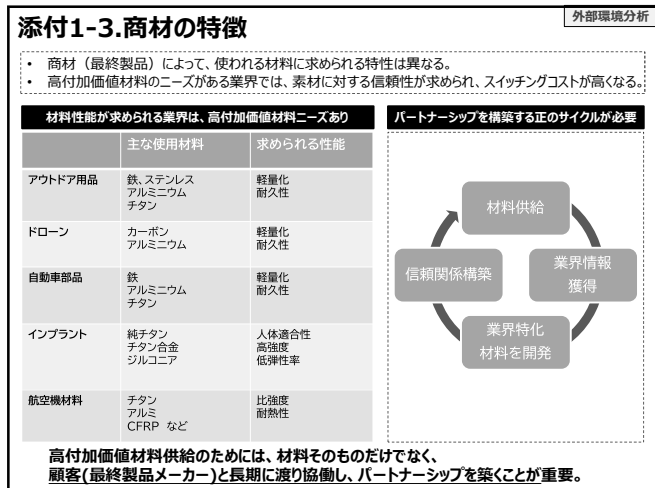
今回の資金調達によって本戦略を実行し、中期戦略として2026年には売上10億円、営業利益3.3億円を実現する。さらに長期的には2030年に売上50億円、営業利益17億円を目指し、調和組織構造の市場普及を実現する。



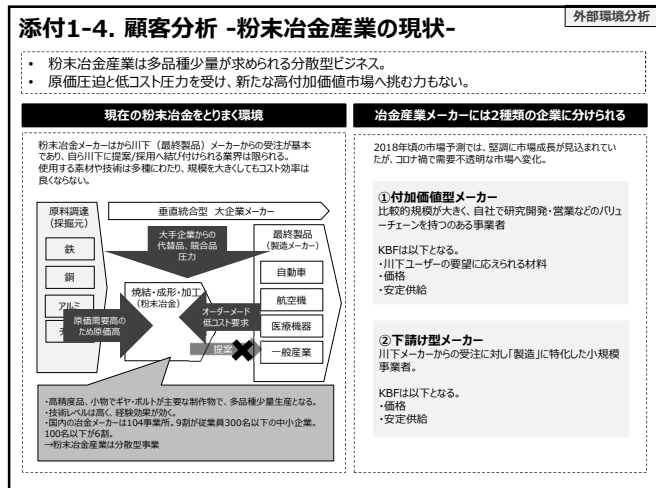
1



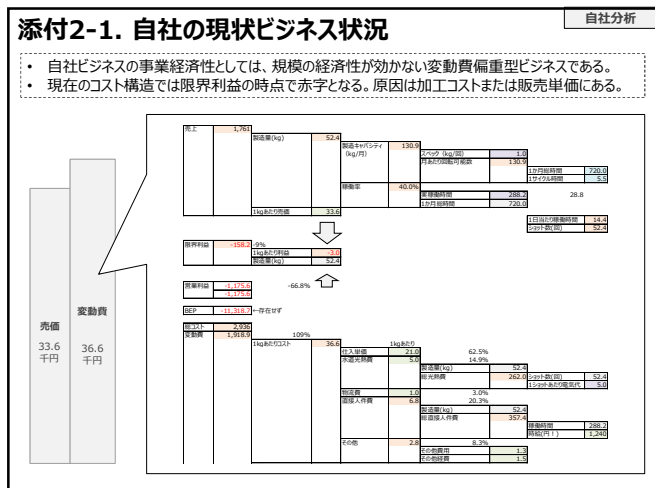
2



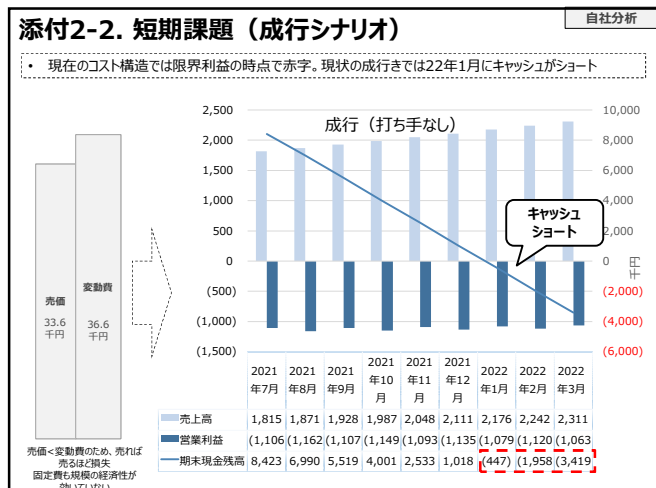
3



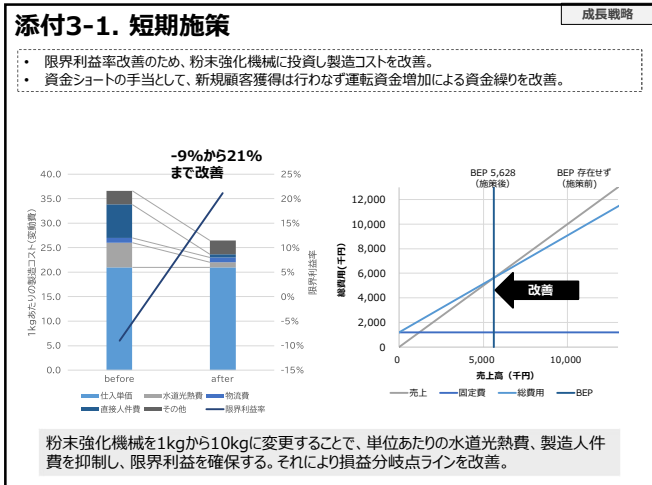
4



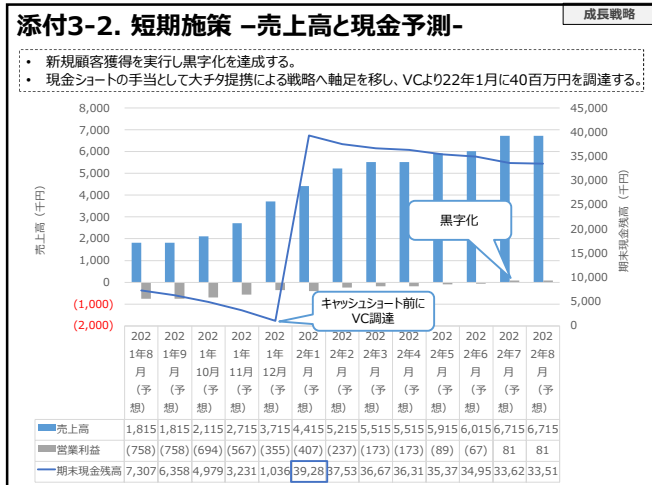
5



6



7



8

添付3-3. 市場と素材の選択

成長戦略

自社の「調和組織構造」技術でこれまでにない価値を提供(=素材によって最終製品のイノベーションに貢献)することで自社の交渉力を高め、利益を創出する。

用途	素材	kgあたり推定利益額	顧客の課題	自社の提供価値	付加価値インパクト	参入時の課題
インプラント(人工股関節・膝関節)	チタン(少量・高価)	大きい	高強度と低ヤング率はトレードオフの関係にある。強度および骨と同等柔らかく求められる。	調和組織の適用で弾性率はそのまま強度だけ上げる	大	国内メーカーのシェアが小さく、海外メーカーが主流。規制や認可などの参入障壁がある。
インプラント(歯科)			土台の骨組織保護の為に低弾性率が求められているが、強度とのトレードオフとなっている	調和組織の適用で弾性率はそのまま強度だけ上げる	大	
航空宇宙 特殊部品			強度・耐熱性および製造にかかる手間とコスト削減が課題	調和組織の適用で強度上昇により、フラスナ代替で軽量化	中	開発に時間とコストがかかる。規制や認可などの参入障壁がある。
血管用ステント			「剛性(強度)」と「塑性変形性(弾性)」が両立できていない	調和組織の適用で弾性率はそのまま強度だけ上げる	小	金属材料が重要課題となっており、ニーズが不明。
ドローン アウトドア	アルミ(大量・安価)	中間	軽量化と耐久性	軽量化	小	製品全体から考えると自社技術が与えるインパクトが小さい。
スポーツ機銃(ヘルメット)		小さい	材料を変え、一定の耐久性を保ちながらコストダウンを図りたい	軽量化 小型化	小	生産設備投資に見合う収益が見込めない為、提案は辞退。
自動車			軽量化	軽量化	中	素材メーカーからの提案余地が小さい。

9

添付3-4. 戦い方の選択

成長戦略

限られたリソースで複数業界へアプローチするために、大阪チタニウムテクノロジーズへ提供または連携のアプローチを行う。

自社は開発に特化し、製造・最終品質保証などの機能は、提携先または粉末冶金メーカーに委託

大阪チタニウムテクノロジーズとは

株式会社 大阪チタニウムテクノロジーズ

大阪チタニウムテクノロジーズは、スポンジアルミを製造している、国内2社のうちの1社。チタンや高機能材料の製造から販売まで行っている企業。

もともと粉末冶金メーカーを顧客としていた自社だが、川上メーカーと提携することで、航空・医療市場へ参入する。

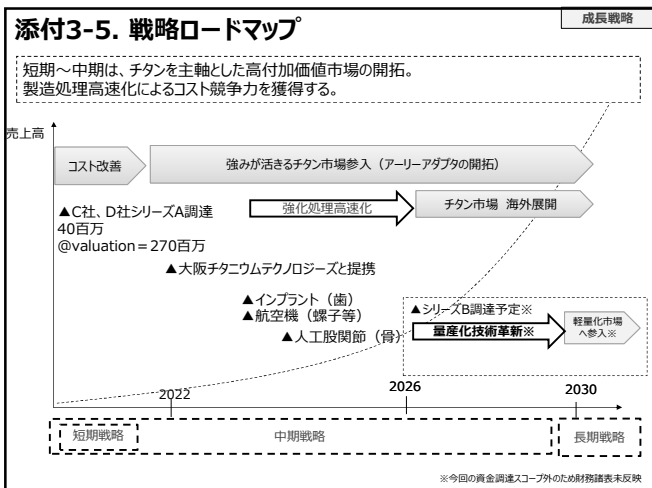
相手の中期計画と整合を合わせ、成長を加速させる

大阪チタニウムテクノロジーズ 中期計画
高精度チタンにおける特徴ある製品の市場投入とそれを武器とした拡販を進める。

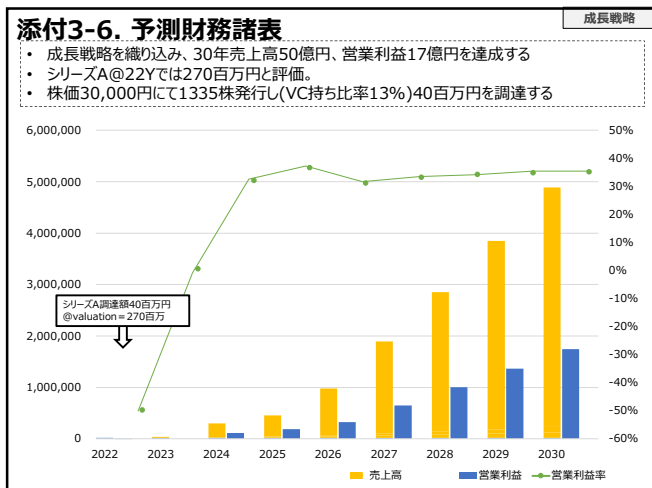
自社課題
技術はあるが、需要が見込める航空・医療業界への参入に課題あり。
(営業ノウハウや認証、規制の観点から)

大阪チタニウムテクノロジーズと協働し、航空・医療など広範囲の川下ユーザーへ高付加価値材料提供を実現する。

10



11



12

損益計算書

(単位：千円)

	月次データ											
	2021年8月期	2021年9月期	2021年10月期	2021年11月期	2021年12月期	2022年1月期	2022年2月期	2022年3月期	2022年4月期	2022年5月期	2022年6月期	2022年7月期
売上高	1,815	1,815	2,115	2,715	3,715	4,415	5,215	5,515	5,515	5,915	6,015	6,715
売上原価	1,913	1,913	2,127	2,555	3,269	3,768	4,339	4,553	4,553	4,839	4,910	5,410
売上総利益	-98	-98	-12	160	446	647	876	962	962	1,076	1,105	1,305
販売費及び一般管理費	660	660	682	727	801	1,053	1,113	1,135	1,135	1,165	1,172	1,225
営業利益	-758	-758	-694	-567	-355	-407	-237	-173	-173	-89	-67	81
営業外収益 (うち、受取利息)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
営業外費用 (うち、支払利息)	11	11	11	10	10	10	10	10	10	9	9	9
経常利益	-769	-769	-705	-577	-365	-417	-247	-183	-183	-98	-77	72
特別利益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特別損失	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
税引前利益	-769	-769	-705	-577	-365	-417	-247	-183	-183	-98	-77	72
法人税等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	70
当期純利益	-769	-769	-705	-577	-365	-417	-247	-183	-183	-98	-77	2
(参考) 減価償却費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(参考) 研究開発費	230	230	230	230	230	230	230	230	230	230	230	230

貸借対照表

(単位：千円)

	2021年8月期	2021年9月期	2021年10月期	2021年11月期	2021年12月期	2022年1月期	2022年2月期	2022年3月期	2022年4月期	2022年5月期	2022年6月期	2022年7月期
現預金	7,307	6,358	4,979	3,231	1,036	39,284	37,537	36,679	36,316	35,378	34,956	33,623
売上債権	3,424	3,424	3,990	5,122	7,008	8,329	9,838	10,404	10,404	11,159	11,347	12,668
棚卸資産	1,633	1,633	1,816	2,181	2,791	3,217	3,705	3,887	3,887	4,131	4,192	4,619
その他流動資産	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
有形固定資産	20,033	19,667	19,300	18,933	18,567	18,200	17,833	17,467	17,100	16,733	16,367	16,000
無形固定資産	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
資産合計	32,497	31,182	30,184	29,568	29,502	69,130	69,013	68,537	67,807	67,501	66,962	67,009
仕入債務	2,267	2,267	2,521	3,028	3,874	4,466	5,142	5,396	5,396	5,734	5,819	6,411
その他流動負債	560	560	560	560	560	560	560	560	560	560	560	560
リース債務	19,918	19,552	19,185	18,818	18,452	18,085	17,718	17,352	16,985	16,618	16,252	15,885
短期借入金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
長期借入金	11,820	11,640	11,460	11,280	11,100	10,920	10,740	10,560	10,380	10,200	10,020	9,840
負債合計	34,565	34,018	33,726	33,686	33,985	34,031	34,160	33,867	33,321	33,112	32,650	32,696
資本金	9,000	9,000	9,000	9,000	9,000	49,000	49,000	49,000	49,000	49,000	49,000	49,000
利益剰余金	-11,068	-11,836	-12,541	-13,118	-13,484	-13,900	-14,147	-14,330	-14,513	-14,611	-14,688	-14,686
純資産合計	-2,068	-2,836	-3,541	-4,118	-4,484	35,100	34,853	34,670	34,487	34,389	34,312	34,314
負債・純資産合計	32,497	31,182	30,184	29,568	29,502	69,130	69,013	68,537	67,807	67,501	66,962	67,009

キャッシュフロー計算書

(単位：千円)

	月次データ											
	2021年8月期	2021年9月期	2021年10月期	2021年11月期	2021年12月期	2022年1月期	2022年2月期	2022年3月期	2022年4月期	2022年5月期	2022年6月期	2022年7月期
期初現金残高	8,423	7,307	6,358	4,979	3,231	1,036	39,284	37,537	36,679	36,316	35,378	34,956
営業キャッシュフロー	-936	-769	-1,200	-1,567	-2,015	-1,572	-1,567	-678	-183	-758	-242	-1,153
税引後当期純利益	-769	-769	-705	-577	-365	-417	-247	-183	-183	-98	-77	2
減価償却費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
運転資本の対前期比較	-168	0	-495	-990	-1,650	-1,155	-1,320	-495	0	-660	-165	-1,155
その他の項目	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
投資キャッシュフロー	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
固定資産等の取得による支出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他の項目	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
財務キャッシュフロー	-180	-180	-180	-180	-180	39,820	-180	-180	-180	-180	-180	-180
株式発行による調達	0	0	0	0	0	40,000	0	0	0	0	0	0
借入金による調達	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
借入金返済による支出	-180	-180	-180	-180	-180	-180	-180	-180	-180	-180	-180	-180
その他の項目	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
期末現金残高	7,307	6,358	4,979	3,231	1,036	39,284	37,537	36,679	36,316	35,378	34,956	33,623

損益計算書 売上高比

	2021年8月期	2021年9月期	2021年10月期	2021年11月期	2021年12月期	2022年1月期	2022年2月期	2022年3月期	2022年4月期	2022年5月期	2022年6月期	2022年7月期
売上高	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
売上原価	105.4%	105.4%	100.6%	94.1%	88.0%	85.4%	83.2%	82.6%	82.6%	81.8%	81.6%	80.6%
売上総利益	-5.4%	-5.4%	-0.6%	5.9%	12.0%	14.6%	16.8%	17.4%	17.4%	18.2%	18.4%	19.4%
販売費及び一般管理費	36.4%	36.4%	32.3%	26.8%	21.6%	23.9%	21.3%	20.6%	20.6%	19.7%	19.5%	18.2%
営業利益	-41.8%	-41.8%	-32.8%	-20.9%	-9.6%	-9.2%	-4.5%	-3.1%	-3.1%	-1.5%	-1.1%	1.2%
営業外収益	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
(うち、受取利息)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
営業外費用	0.6%	0.6%	0.5%	0.4%	0.3%	0.2%	0.2%	0.2%	0.2%	0.2%	0.2%	0.1%
(うち、支払利息)	0.6%	0.6%	0.5%	0.4%	0.3%	0.2%	0.2%	0.2%	0.2%	0.2%	0.2%	0.1%
経常利益	-42.4%	-42.3%	-33.3%	-21.3%	-9.8%	-9.4%	-4.7%	-3.3%	-3.3%	-1.7%	-1.3%	1.1%
特別利益	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
特別損失	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
税引前利益	-42.4%	-42.3%	-33.3%	-21.3%	-9.8%	-9.4%	-4.7%	-3.3%	-3.3%	-1.7%	-1.3%	1.1%
税金等	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.0%
当期純利益	-42.4%	-42.3%	-33.3%	-21.3%	-9.8%	-9.4%	-4.7%	-3.3%	-3.3%	-1.7%	-1.3%	0.0%

損益計算書

(単位：千円)

	月次データ											
	2022年8月期	2022年9月期	2022年10月期	2022年11月期	2022年12月期	2023年1月期	2023年2月期	2023年3月期	2023年4月期	2023年5月期	2023年6月期	2023年7月期
売上高	6,715	6,715	6,715	6,715	6,715	7,325	7,325	7,325	7,325	7,325	7,325	24,215
売上原価	5,410	5,410	5,410	5,410	5,410	6,774	6,774	6,774	6,774	6,774	6,774	14,498
売上総利益	1,305	1,305	1,305	1,305	1,305	552	552	552	552	552	552	9,718
販売費及び一般管理費	1,225	1,225	1,225	1,225	1,225	1,662	1,662	1,662	1,662	1,662	1,662	2,707
営業利益	81	81	81	81	81	-1,111	-1,111	-1,111	-1,111	-1,111	-1,111	7,011
営業外収益 (うち、受取利息)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
営業外費用 (うち、支払利息)	9	9	9	8	8	8	8	8	8	7	7	7
経常利益	72	72	72	73	73	-1,119	-1,119	-1,119	-1,118	-1,118	-1,118	7,004
特別利益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特別損失	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
税引前利益	72	72	72	73	73	-1,119	-1,119	-1,119	-1,118	-1,118	-1,118	7,004
法人税等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	70
当期純利益	72	72	72	73	73	-1,119	-1,119	-1,119	-1,118	-1,118	-1,118	6,934
(参考) 減価償却費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(参考) 研究開発費	230	230	230	230	230	1,230	1,230	1,230	1,230	1,230	1,230	1,230

貸借対照表

(単位：千円)

	2022年8月期	2022年9月期	2022年10月期	2022年11月期	2022年12月期	2023年1月期	2023年2月期	2023年3月期	2023年4月期	2023年5月期	2023年6月期	2023年7月期
現預金	33,515	33,407	33,300	33,192	33,085	31,087	29,788	28,490	27,191	25,893	24,595	2,045
売上債権	12,668	12,668	12,668	12,668	12,668	13,819	13,819	13,819	13,819	13,819	13,819	45,682
棚卸資産	4,619	4,619	4,619	4,619	4,619	5,783	5,783	5,783	5,783	5,783	5,783	12,378
その他流動資産	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
有形固定資産	15,633	15,267	14,900	14,533	14,167	13,800	13,433	13,067	12,700	12,333	11,967	11,600
無形固定資産	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
資産合計	66,535	66,061	65,586	65,112	64,638	64,589	62,924	61,259	59,594	57,929	56,264	71,805
仕入債務	6,411	6,411	6,411	6,411	6,411	8,027	8,027	8,027	8,027	8,027	8,027	17,181
その他流動負債	560	560	560	560	560	560	560	560	560	560	560	560
リース債務	15,518	15,152	14,785	14,418	14,052	13,685	13,318	12,952	12,585	12,218	11,852	11,485
短期借入金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
長期借入金	9,660	9,480	9,300	9,120	8,940	8,760	8,580	8,400	8,220	8,040	7,860	7,680
負債合計	32,149	31,602	31,056	30,509	29,962	31,032	30,485	29,939	29,392	28,845	28,299	36,906
資本金	49,000	49,000	49,000	49,000	49,000	49,000	49,000	49,000	49,000	49,000	49,000	49,000
利益剰余金	-14,614	-14,542	-14,469	-14,397	-14,324	-15,443	-16,561	-17,680	-18,798	-19,916	-21,034	-14,101
純資産合計	34,386	34,458	34,531	34,603	34,676	33,557	32,439	31,320	30,202	29,084	27,966	34,899
負債・純資産合計	66,535	66,061	65,586	65,112	64,638	64,589	62,924	61,259	59,594	57,929	56,264	71,805

キャッシュフロー計算書

(単位：千円)

	月次データ											
	2022年8月期	2022年9月期	2022年10月期	2022年11月期	2022年12月期	2023年1月期	2023年2月期	2023年3月期	2023年4月期	2023年5月期	2023年6月期	2023年7月期
期初現金残高	33,623	33,515	33,407	33,300	33,192	33,085	31,087	29,788	28,490	27,191	25,893	24,595
営業キャッシュフロー	72	72	72	73	73	-1,818	-1,119	-1,119	-1,118	-1,118	-1,118	-22,371
税引後当期純利益	72	72	72	73	73	-1,119	-1,119	-1,119	-1,118	-1,118	-1,118	6,934
減価償却費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
運転資本の対前期比較	0	0	0	0	0	-700	0	0	0	0	0	-29,304
その他の項目	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
投資キャッシュフロー	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
固定資産等の取得による支出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他の項目	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
財務キャッシュフロー	-180	-180	-180	-180	-180	-180	-180	-180	-180	-180	-180	-180
株式発行による調達	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
借入金による調達	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
借入金返済による支出	-180	-180	-180	-180	-180	-180	-180	-180	-180	-180	-180	-180
その他の項目	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
期末現金残高	33,515	33,407	33,300	33,192	33,085	31,087	29,788	28,490	27,191	25,893	24,595	2,045

損益計算書 売上高比

	2022年8月期	2022年9月期	2022年10月期	2022年11月期	2022年12月期	2023年1月期	2023年2月期	2023年3月期	2023年4月期	2023年5月期	2023年6月期	2023年7月期
売上高	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
売上原価	80.6%	80.6%	80.6%	80.6%	80.6%	92.5%	92.5%	92.5%	92.5%	92.5%	92.5%	59.9%
売上総利益	19.4%	19.4%	19.4%	19.4%	19.4%	7.5%	7.5%	7.5%	7.5%	7.5%	7.5%	40.1%
販売費及び一般管理費	18.2%	18.2%	18.2%	18.2%	18.2%	22.7%	22.7%	22.7%	22.7%	22.7%	22.7%	11.2%
営業利益	1.2%	1.2%	1.2%	1.2%	1.2%	-15.2%	-15.2%	-15.2%	-15.2%	-15.2%	-15.2%	29.0%
営業外収益	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
(うち、受取利息)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
営業外費用	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0.0%
(うち、支払利息)	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0.0%
経常利益	1.1%	1.1%	1.1%	1.1%	1.1%	-15.3%	-15.3%	-15.3%	-15.3%	-15.3%	-15.3%	28.9%
特別利益	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
特別損失	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
税引前利益	1.1%	1.1%	1.1%	1.1%	1.1%	-15.3%	-15.3%	-15.3%	-15.3%	-15.3%	-15.3%	28.9%
税金等	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.3%
当期純利益	1.1%	1.1%	1.1%	1.1%	1.1%	-15.3%	-15.3%	-15.3%	-15.3%	-15.3%	-15.3%	28.6%

損益計算書

(単位：千円)

	年度データ (7月決算)									
	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度
売上高	18,527	51,480	101,742	360,869	513,673	1,040,872	1,955,613	2,910,598	3,907,559	4,948,339
売上原価	22,745	44,148	82,187	207,622	279,649	643,377	1,183,354	1,741,620	2,324,425	2,932,847
売上総利益	-4,218	7,332	19,555	153,247	234,025	397,496	772,260	1,168,977	1,583,133	2,015,492
販売費及び一般管理費	5,869	11,530	18,805	36,996	45,349	71,709	119,246	166,995	216,843	268,882
営業利益	-10,087	-4,198	750	116,251	188,676	325,787	653,014	1,001,982	1,366,290	1,746,610
営業外収益 (うち、受取利息)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
営業外費用 (うち、支払利息)	142	119	95	72	48	13	0	0	0	0
経常利益	-10,229	-4,317	655	116,180	188,628	325,773	653,014	1,001,982	1,366,290	1,746,610
特別利益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特別損失	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
税引前利益	-10,229	-4,317	655	116,180	188,628	325,773	653,014	1,001,982	1,366,290	1,746,610
法人税等	70	70	70	70	6,537	114,021	228,555	350,694	478,202	611,314
当期純利益	-10,299	-4,387	585	116,110	182,092	211,753	424,459	651,288	888,089	1,135,297
(参考) 減価償却費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(参考) 研究開発費	3,521	2,760	9,760	14,760	14,760	2,760	2,760	2,760	2,760	2,760

貸借対照表

(単位：千円)

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度
現預金	8,423	33,623	2,045	98,650	253,193	400,525	694,885	1,211,453	1,958,900	2,947,373
売上債権	3,424	12,668	45,682	64,624	92,275	163,634	307,439	457,571	614,301	777,921
棚卸資産	2,067	4,619	12,378	16,495	22,326	45,775	84,194	123,913	165,379	208,667
その他流動資産	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
有形固定資産	6,400	16,000	11,600	5,567	12,367	5,167	40,767	26,367	11,967	-2,433
無形固定資産	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
資産合計	20,415	67,009	71,805	185,435	380,261	615,201	1,127,384	1,819,404	2,750,647	3,931,627
仕入債務	2,869	6,411	17,181	22,895	30,989	63,536	116,861	171,992	229,546	289,630
その他流動負債	560	560	560	560	560	560	560	560	560	560
リース債務	6,285	15,885	11,485	5,452	12,252	5,052	40,652	26,252	11,852	-2,548
短期借入金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
長期借入金	12,000	9,840	7,680	5,520	3,360	1,200	0	0	0	0
負債合計	21,714	32,696	36,906	34,426	47,161	70,348	158,073	198,804	241,958	287,642
資本金	9,000	49,000	49,000	49,000	49,000	49,000	49,000	49,000	49,000	49,000
利益剰余金	-10,299	-14,686	-14,101	102,009	284,100	495,853	920,312	1,571,600	2,459,689	3,594,985
純資産合計	-1,299	34,314	34,899	151,009	333,100	544,853	969,312	1,620,600	2,508,689	3,643,985
負債・純資産合計	20,415	67,009	71,805	185,435	380,261	615,201	1,127,384	1,819,404	2,750,647	3,931,627

キャッシュフロー計算書

(単位：千円)

	年度データ (7月決算)									
	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度
期初現金残高	23,504	8,422	33,622	2,044	98,649	253,193	400,525	694,885	1,211,453	1,958,900
営業キャッシュフロー	-12,922	-12,640	-29,419	98,765	156,703	149,492	295,560	516,568	747,447	988,473
税引後当期純利益	-10,299	-4,387	585	116,110	182,092	211,753	424,459	651,288	888,089	1,135,297
減価償却費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
運転資本の対前期比較	-2,623	-8,253	-30,004	-17,345	-25,388	-62,261	-128,899	-134,720	-140,642	-146,824
その他の項目	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
投資キャッシュフロー	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
固定資産等の取得による支出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他の項目	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
財務キャッシュフロー	-2,160	37,840	-2,160	-2,160	-2,160	-2,160	-1,200	0	0	0
株式発行による調達	0	40,000	0	0	0	0	0	0	0	0
借入金による調達	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
借入金返済による支出	-2,160	-2,160	-2,160	-2,160	-2,160	-2,160	-1,200	0	0	0
その他の項目	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
期末現金残高	8,422	33,622	2,044	98,649	253,192	400,525	694,885	1,211,453	1,958,900	2,947,373

損益計算書 売上高比

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度
売上高	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
売上原価	122.8%	85.8%	80.8%	57.5%	54.4%	61.8%	60.5%	59.8%	59.5%	59.3%
売上総利益	-22.8%	14.2%	19.2%	42.5%	45.6%	38.2%	39.5%	40.2%	40.5%	40.7%
販売費及び一般管理費	31.7%	22.4%	18.5%	10.3%	8.8%	6.9%	6.1%	5.7%	5.5%	5.4%
営業利益	-54.4%	-8.2%	0.7%	32.2%	36.7%	31.3%	33.4%	34.4%	35.0%	35.3%
営業外収益	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
(うち、受取利息)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
営業外費用	0.8%	0.2%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
(うち、支払利息)	0.8%	0.2%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
経常利益	-55.2%	-8.4%	0.6%	32.2%	36.7%	31.3%	33.4%	34.4%	35.0%	35.3%
特別利益	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
特別損失	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
税引前利益	-55.2%	-8.4%	0.6%	32.2%	36.7%	31.3%	33.4%	34.4%	35.0%	35.3%
税金等	0.4%	0.1%	0.1%	0.0%	1.3%	11.0%	11.7%	12.0%	12.2%	12.4%
当期純利益	-55.6%	-8.5%	0.6%	32.2%	35.4%	20.3%	21.7%	22.4%	22.7%	22.9%

【出所一覧】

●添付 1-1、添付 1-2

- ・経済産業省：鉄鋼業の現状と課題

https://www.meti.go.jp/committee/kenkyukai/sansei/kaseguchikara/pdf/010_s03_02_03_01.pdf

- ・経済産業省：アルミニウム産業の現状と課題

https://www.meti.go.jp/policy/nonferrous_metal/strategy/aluminum02.pdf

- ・経済産業省：チタン産業の現状と課題

https://www.meti.go.jp/policy/nonferrous_metal/strategy/titanium02.pdf

- ・日本重化学工業株式会社：合金鉄事業

<http://www.jmc.co.jp/products/ferroalloy.html>

●添付 1-3、添付 3-3

- ・東京医科歯科大学：ステント用金属材料

https://www.jstage.jst.go.jp/article/jsao1972/35/1/35_1_193/_pdf

- ・歯科学報：インプラント材料とその表面

https://ir.tdc.ac.jp/irucba/bitstream/10130/680/1/103_313.pdf

- ・日補綴会誌：補綴歯科治療における材料と生体組織とのインターフェイス

https://www.hotetsu.com/s/doc/irai2015_1_01.pdf

- ・日口腔インプラント誌 第24巻：歯科用インプラント材料としてのチタンおよびチタン合金の機械的性質

https://www.jstage.jst.go.jp/article/jsoi/24/2/24_207/_pdf

- ・新エネルギー・産業技術総合開発機構：次世代構造部材創製・加工技術開発

https://www.nedo.go.jp/activities/ZZJP_100098.html

- ・日本鍛造協会：航空機におけるアルミニウム合金の利用の概況と今後

<http://www.jfa-tanzo.jp/wp/pdf/jfa45-017.pdf>

- ・大同特殊銅：航空機エンジン用耐熱合金の最近の動向

https://www.daido.co.jp/common/pdf/pages/technology/journal/83_1/06_technicalreview.pdf

- ・溶接学会誌：ジェットエンジンの将来に向けた接合技術

https://www.jstage.jst.go.jp/article/jjws/80/3/80_236/_article/-char/ja/

- ・軽金属 第55巻 第11号(2005) 561-565：生体材料としてのチタンおよびチタン合金

https://www.jstage.jst.go.jp/article/jilm/55/11/55_11_561/_pdf

- ・軽金属 第55巻 第11号(2005) 557-560：航空機分

野におけるチタン合金の開発とその適用

https://www.jstage.jst.go.jp/article/jilm/55/11/55_11_557/_pdf

●添付 1-4

- ・グローバルインフォメーション：粉末冶金製品世界市場

<https://www.gii.co.jp/report/bc969283-powder-metallurgy-global-markets.html>

- ・矢野経済研究所：金属粉末射出成形に関する調査

https://www.yano.co.jp/press-release/show/press_id/2123

- ・素形材センター：粉末冶金産業ビジョン

https://sokeizai.or.jp/japanese/move/pdf/funmatu_vision06_honbun.pdf

●添付 3-3

- ・粉体および粉末冶金 第62巻：-粉末冶金の新しい可能性-調和組織制御法による高強度・高延性材料の創製

https://www.jstage.jst.go.jp/article/jjspm/62/6/62_297/_pdf

- ・粉末冶金法を応用した調和組織・高じん性材料の創製

https://shingi.jst.go.jp/past_abst/abst/p/14/1433/ritsumei02.pdf

- ・人工関節の設計・製造プロセスの現状・課題・展望

https://www.jstage.jst.go.jp/article/materia/55/4/55_55.137/_pdf

- ・経済産業省：次世代構造部材創製・加工技術開発

https://www.meti.go.jp/shingikai/sankoshin/sangyo_gijutsu/kenkyu_innovation/hyoka_wg/pdf/020_05_02_02_02.pdf

- ・溶接学会誌 第83巻：航空・宇宙「プロセス・施工編」

https://www.jstage.jst.go.jp/article/jjws/83/3/83_209/_pdf/-char/en

- ・日本循環器学会：安定冠動脈疾患の血行再建ガイドライン：

https://www.j-circ.or.jp/old/guideline/pdf/JCS2018_nakamura_yaku.pdf

- ・関東経済産業局：航空機産業の動向と参入のタイミング

https://www.kanto.meti.go.jp/seisaku/kouku_uchu/data/doko_timing.pdf

- ・NTT DATA：我が国医療機器・ヘルスケア産業における競争力調査

https://www.meti.go.jp/shingikai/mono_info_service/medical_equipment_healthcare/pdf/002_01_02.pdf

●添付 3-4

- ・大阪チタニウムテクノロジーズ：2020年度決算説明

<https://www.osaka-ti.co.jp/ir/pdf/kaiji210531.pdf>